

4年目を迎えた宇田川ゆきおさん!

フレッシュな感覚と地道な努力。しがらみを脱し、新分野に挑戦を

県議1期目にして、子育て支援、インフラ整備などで、成長を見せる。

私が宇田川ゆきお県議に最初に会ったのは、今から5年程前、まだ、宇田川さんが県議議員になる以前の頃でした。その後、宇田川さんと対談をした際、八潮で思い切って子育てに特化した政策展開を考えたいと、決意を述べられていました。また、インフラ整備についても南部と北部にそれぞれ発展の中心をつくり、南北をつなぐ導線をつくって、観光や市民の賑わいを作り出していきたいと熱意を込めて話されていました。

県議議員に当選後も、いろいろと研究され、当時の言葉どおり、特色ある子育て支援として提言し、そのための子育て世代包括支援センターを平成31年度末までに全県に整備することになったと聞いています。また、八潮市の北部では外環道のパーキングエリア、スマートインターチェンジの設置へ向けて、今年2月には都市計画決定に施設の整備が組み入れられ、いよいよ動き出すと伺っています。

こういったことを見ても、宇田川さんはこの4年間で着実に成長してきたと言えるでしょう。地元の皆さんも心強く感じていると思います。

少子高齢社会を乗り越えるため、「絆」で地域コミュニティの再生を

しかし、その一方で、地方自治体の置かれている現状はさらに難しさを増しています。増大する住民からの要求は多様化の一途を辿り、財源の厳しさと相まって、住民ニーズにどのようにして応え、住民満足度をいかに高めていくかということに対し、四苦八苦しています。少子高齢社会を考えれば、国や行政にだけ、課題解決を託すのではなく、自らが主体的に問題



【牧田義輝氏プロフィール】◆1966年早稲田大学大学院政治学専攻修士課程修了。カリフォルニア大学バークレー留学。政治学博士(明治大学)。東海大学名誉教授、明治大学講師、神奈川大学講師。(地方行政・行政学・政策過程論専攻)◆主な著書「アメリカの広域行政」(勁草書房)、「アメリカ大都市圏の行政システム」(勁草書房)、「比較行政制度論」(法学書院)、「機能する地方自治体」(勁草書房)、「住民参加の再生」(勁草書房)ほか

を解決するため、役割を果たすことが求められてきます。ここでは、現在、国・自治体が行っている業務を行政部門、市場部門、非営利部門、(地縁・血縁など)非公式部門に今一度、再定義・再配置していくことになるのです。

そこでカギとなるのは、宇田川さんが当時から指摘していた「絆」という言葉です。宇田川さんは、新住民の流入で人口増を遂げている八潮市にあって、新住民と旧住民の交流の重要性、地域のつながりの再生に目を向け、それを「絆」という言葉をつかって取り戻し、地域コミュニティを強くしていくことを目指しているのです。防災・防犯、福祉、教育、外国人との共生…、それらの解決するため、今後、どのようなかたちで政策展開をしていくのか。宇田川さんの動きを私は大いに注目しています。

政治学博士・東海大学名誉教授 **牧田 義輝**

情熱 責任
真摯 覚悟

埼玉県議会議員

宇田川 ゆきお

県政報告

平成31年 3月発行 春号 Vol.11

発行:埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所 〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099



4年目を迎え、決意も新た。

八潮市に、そして埼玉に新しい夢を描こう!

埼玉県議会議員
宇田川 ゆきお

3月定例会に真摯に取り組み、皆様の声を活かし、県政をチェック

いつも、私、宇田川ゆきおの政治活動に温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2月20日より1期目の任期最後の県議会が開会し「平成31年度一般会計予算(案)」等47件が上程されました。議案を丁寧に審査し、全身全霊を捧げ任期最後の議会に臨みます。

この4年間で八潮市の成長は著しく、人口は9万人を突破し、今も成長のさなかにあります。この勢いをさらに加速させて八潮の活力を最大限に活かせるよう、研鑽を積んで参ります。

より利便性が高まる、外環道にパーキングエリア、スマートインターの設置、(東埼玉道路高規格道路との接続をする)ジャンクション建設の早期着工へ向け、大山忍市長とこれからも手を携えて取り組んで参ります。道をつなげ、企業誘致をするだけでなく、先端技術と地元産業をつなげる、先端技術と教育をつなげる、ハード面だけでなくソフト面もつなげる構想を温めています。

また、子育て世代が安心して暮らせる先端的な取り組みを

考えています。妊娠、出産、子育ては一体であるにもかかわらず、一貫して相談できる窓口がありませんでした。医療機関や行政との連携を推進し、八潮市が取り組んでいる包括子ども支援サービスの充実や、子育て世代同士をつなぎ、周りの人も一緒に子育てをする環境を醸成し、優しさが循環できるまちづくりへ向け全力を尽くします。

八潮市はもっともっと便利になります。新しい八潮の夢を皆様とともに描いて参りますので、倍旧のご支援を宜しくお願いいたします。



大山市長とPA、スマートIC設置に向けての打ち合わせ

宇田川ゆきお・経歴 ●昭和53年八潮市八條生まれ ●八潮市立八條中学校卒業 ●浦和美学園高等学校卒業 ●東京コミュニケーション専門学校卒業 ●音楽の道へ ●八潮市議会議員選挙にて初当選 ●

専修大学法学部中退 ●平成21年、八潮市議会議員選挙にて二期目当選 ●平成27年、埼玉県議会議員選挙にて初当選 ●県議会・文教副委員長、自然再生・循環社会対策特別委員、決算特別委員 ●所属団体・八

潮市商工会青年部、八潮市消防団、八條有志クラブ他 宇田川ゆきお公式WebSite www.udagawayukio.com/



ホームページ・リニューアル



宇田川ゆきおホームページをリニューアルしました。FaceBookやツイッター、ブログ、動画もここから見られます。アクセスをよろしくお願いたします。

ボランティア募集中



八潮市から埼玉県を変える。宇田川ゆきおの活動をお手伝いして下さる方を募集しています。お問い合わせは下記事務所までお願いします。

ミニ集を開きませんか?



宇田川ゆきおがお伺いして、政治のこと、埼玉のことをお話しします。少人数でかまいません。ご希望の方や日程、内容などを下記事務所にお知らせ下さい。

ご意見をお寄せ下さい

宇田川ゆきお県政事務所

〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099 E-mail:contact@udagawayukio.com

宇田川ゆきお県議のビジョン2019、着々と進行中!

一緒に八潮の新しい未来をつくらう!

八潮市は、秋葉原までTXで17分という抜群の利便性もあり、都内からも注目され、人口も増え続け、大きな可能性を有しています。宇田川ゆきおは、この八潮市に新たな夢を描くため、皆様との意見交換を大切に、皆様の声や願いをかたちにするための政策を発想して、実現させています。

PAスマートICが都市計画決定。宇田川ゆきおと大山市長の熱心な要望活動が実る

東京外環自動車道(「外環道」)は、昨年6月2日に三郷南IC(インターチェンジ)から高谷JCT間が開通し、これにより京葉道路、東関東自動車道、首都高速湾岸線と接続し、飛躍的に利便性が高まりました。ところが、八潮市内には外環道のICがないことから、混雑する国道298号線を通り草加ICもしくは三郷西ICを利用するストレスに悩まされています。また、外環道では休憩施設が和光市の新倉PA(パーキングエリア)のみとなっていることから、



助産師さんとの勉強会にて

外環道利用者からも休憩施設となる新たなPAの設置要望が寄せられています。そこで、宇田川ゆきおは、大山忍市長とともに、石井国土交通大臣及び埼玉県に対して、八潮市内におけるPA及びスマートインターチェンジ(スマートIC)の建設を繰り返し要望して参りました。

その結果、平成31年2月、埼玉県は「休憩施設及び本線と休憩施設の接続道路を外環道の区域に追加すること」を都市計画決定し、事業が動き出しはじまりました。

八潮は、これから交通の要所に。人、モノ、情報の交差点として企業誘致などで地元に波及効果!

宇田川ゆきおは、この地域のポテンシャルを最大限活かすため、外環道と東埼玉道路の高規格道路とのジャンクション(JCT)の建設についても強く推進しています。PA、スマートIC、JCTの建設により、八潮は縦横無尽に移動できる交通の要所となり、人・モノ・情報の交差点になりえま



このエリアにスマートインターを。

宇田川提案からスタートした子育て包括支援センター、平成31年度末までに県内に設置

一方で、ソフトと言われる「子育て・教育・文化・福祉」も重点的に対応していかなければ少子高齢化へ配慮した行政とは言えません。ハードとソフトの調和が、住みよい街づくりのキーワードです。

現在、宇田川ゆきおは子育て真っ最中で、子育ての大変さを実感しています。宇田川ゆきおは、子育てのあり方を重点政



策の一つとして一貫して取り上げてきました。県議会における、ネウボラの質問は、県の担当職員だけでなく、議員の仲間たちからも注目を浴びました。このネウボラはフィンランドにおける、妊娠・出産・就学前までの母子とその家族を支援する政策全体をいいます。誰もが不安なく、妊娠・出産・子育てができるよう切れ目のない支援を自治体が行うよう主張してきました。そして、埼玉県では「埼玉版ネウボラ」ともいふべき「子育て支援包括支援センター」を平成31年度末までに県内全市町村で設置する計画を策定しました。

宇田川ゆきおの新発想。予防、医療、介護、金融システム構想 全世代を包括的にケアするために

また、昨年国会では、妊娠期から子どもが成人になるまで切れ目のない支援体制を保障する「成育医療等基本法」が成立しました。この法は、国や市町村、関係機関の責務として子どもの健全な成育を明記し、保護者の支援を含め、教育、医療、福祉などの分野での連携を規定しています。この法をもとに県としてもしっかりと体制づくりを進めるよう提言してまいります。

さて、ネウボラ("neuvola")の語源は、

neuvo(アドバイス)の場所という意味です。つまり、ネウボラとは、専門職の支援の相談を受ける場をいいます。相談を必要としているのは子育て世代だけではありません。シルバー世代への支援も喫緊の課題です。宇田川ゆきおは、予防と広義の金融を合わせた予防、医療、介護、金融システムの連携が必要と考えています。(平成30年12月定例会一般質問参照)

宇田川ゆきおは、あらゆる世代が地域にとけこみ、互いに知恵を出し合い助け合う優しさが循環する社会を目指して、これからも県に様々な提言を行い、皆様の願いを「かたち」にして参ります。



宇田川ゆきお県議に期待します。八潮市から埼玉を変えていこう!



五十嵐さん (老人会役員)

活気のあるまち、便利なまちが必要です。

活気と将来性のある賑やかなまちが理想です。各所にアクセスよく、人も仕事も増えるといいなと思います。



泉さん (飲食店勤務)

小さい子もお年寄りも集まれる憩いの場を

気軽に会話できる場所があれば、世代を越えた意見交換もできますし、市民同士で助け合える絆も増えるでしょう。



飯山さん (食品製造業)

水と緑が豊かな八潮を気に入っています

安心して暮らせるように、地震や洪水など緊急時のことも考えて、水辺の安全管理をしっかりとお願いいたします。



武藤さん (飲食業)

子どもの将来を見据えた教育をお願いします

この子が社会に出た時、「八潮で育ててよかった」と自慢したくなるようなまちづくりを期待しています。



飯山さん (介護士)

仕事と子育ての両立をサポートして欲しい

働く母親の助かるサービスをもっと増やしてほしい。同じ子育て世代として、宇田川さんを応援しています!



横石さん (歯科医師)

他市・他県に誇る医療レベルを目指して

健康水準と幸福度は、切り離せない密接な関係にあると考えます。八潮市には医療環境の更なる向上を求めます。